

松本孝一 プロフィール

mixs. 創始者 /
養生アーティスト
空手家 / ミュージシャン

mixs. <https://www.mixs.jp>



幼少の頃、小児喘息の為、満足に身体を動かすことが出来なかった体験の反動から十八才より空手道の修行に明け暮れる。

自らの腰痛を動かすことで乗り越えたきっかけから、長年にわたる空手道の稽古を通して得た身体の使い方に着目、結果ではなく疾患の原因から取り除くことで克服する現代の養生法 mixs.を創始する。

生きる根源である呼吸をベースに独自の細胞活性運動と自ら治ろうと発する力を引き出す、イメージ空間との融合は、アトピー、喘息、椎間板ヘルニア、花粉症などの生活習慣病だけでなく、パーキンソン、パニック症、統合失調症、線維筋痛症などの難病疾患の改善にも驚異的な効果をあげ、全国で開催するセミナーは現代医療の関係者からも大きな注目を集めている。



世界遺産奈良薬師寺講演



小学校指導青少年奉仕

その身体の操作理論に魅せられ、治療家はじめスポーツ、健康の指導者はもとより世界的に活躍するミュージシャン、クラシックの指揮者など他ジャンルのプロフェッショナルも受講に訪れている。

本来の治癒力とは何もしないで自然に治るのではなく身体のしくみすべてを基本に戻してこそはじめて発揮されるもの自発治癒力（自ら治ろうと発する力）という表現を創造、基本理念としている。

過剰に医療へ頼りきりにならず日々の暮らしの中で人が持っている身体のしくみを使うこと（養生）は、病気の軽減、医療費の削減へ繋がりが、そのことは同時に国民全体の医療費の使い方に於いても、現代医療の高度な技術や薬を本当に必要な人に効率的に届けることができる日本を救う究極の解決法であるというのが信条。

2014年シンガポールにてセミナー開催、又、「世界遺産 奈良薬師寺」では2014年から毎年の講演を経て2018年薬師寺に於いて千年から甦った失われ



中学校指導青少年奉仕

第8福縁あふれる願守の社
豊川稲荷養生(ようじょう)講演
今、身体力を引き上げる時
日本三大稲荷のエネルギー空間から贈る
ウィルスに負けない呼吸の力
10月10日 講師 mixx代表 松本 孝一
【会場】豊川稲荷 豊川稲荷 愛知県豊川市豊川町1番地
【受付】11:00 最祥殿 【開演】13:30 瑞祥殿 【終演予定】16:15
【チケット】¥5,000(門前通り商店街 ¥500お買い得券付き)
【講義と実演講演プログラム】
講義/ウィルスに負けない呼吸の力 休憩/生エコーコンサート
実演/身体力を引き出す呼吸と発声活動
※当日は、実演が終了するまで受付を閉じます。講演終了の予定は、当日の受付を参照してください。(都合変更あり)
主催/縁あふれる願守の社 実行委員会
協賛/豊川稲荷妙厳寺・豊川門前通り商店街振興協会・稲荷会・豊川稲荷芸術指導員協会・1-1社1日本120学会
お問い合わせ/実行委員会 電話TEL 090-1627-0557

豊川稲荷本山養生講演

た文化遺産、食堂（じきどう）にて日本の指導者として初めての講演を成功させている。

特に 2020 年より吹き荒れるコロナウイルスの影響から参拝者の減るお寺、神社へ新たな人々のご縁を繋ぎ助けになりたいとの思いから、2021 年 日本三大稲荷の一つ、愛知県は豊川稲荷本山、東京赤坂は豊川稲荷東京別院、静岡の一宮 小國神社、原宿の東郷神社などのエネルギー場より講演を通し多くの人々へ身体の実を伝えている。

近年、全国から訪れる難病への個人指導の傍ら、企業、団体からの講演他、小中学校にて全校生徒、教職員への指導などの地域社会奉仕活動。

2014 年の東日本大震災チャリティー公演開催他、2016 年 1 1 月には震災被災地熊本益城町へ義援にて現地指導など養生の大切さを世に伝えることを通し被災地の人々を救う「正義の循環」善意の先贈りの具現に挑んでいる。



東京養生講演



熊本震災義援指導社会奉仕



2023年より、声と言うどこからでも届く領域から、

多くの人々に身体の真実へ辿り着いて欲しいとの想いを浮かべライブ活動に挑む。

CD 「可能性の扉へ」他4曲

[オリジナル曲リリース](#)

ライナーノーツ

数えきれない人々の身体への指導を通し、「自らの力を信じる」「なりたい景色を思い浮かべる」、これら投げかけてきた言葉を今、あらためて自らに言い聞かすことになる。

年々増え続ける医療費、その甲斐もなく世にあふれる病。一方的な医療への依存からは人がイキイキ生きる景色など到底浮かんで来ない。

もし、声と言うどこからでも届く領域から、誰しもが持っている身体の力に気づいてくれたなら、

人や物に安易に頼ることなく病から復活するエネルギーが日本中に漲り、日本の未来に陽が射すに違いない。



「声を届ける楽曲制作、振動プロジェクトの誕生だった」

長年、人を病から引き上げる指導をして来た身が、まさか歌で世間に出ることになろうとは、

そのてらいは、身体への指導も歌も細胞からの振動、信念からの響きが人の身体の内へ必ず届くと信じる覚悟で払拭された。

そう、「細胞には垣根はない」、思い込みの枠が音を立てて消え去った。

縁が次々と運に繋がるように、このプロジェクトの入り口へ辿り着けたことに万感の思いと、触れて頂いた一人一人のご縁に感謝しかない。

必然のごとく、すべてのオリジナル曲が細胞の振動として、瞬く間に自らの内から生まれたことこそ、可能性の扉はいつでも目の前にある証と言えよう。

松本孝一

